



防災学術連携体フォーラム

日本災害看護学会における取り組み

日本災害看護学会理事長
山本あい子

2016/1/9 日本学術会議にて



日本災害看護学会について



《目的》

「災害看護学の知識や実践の体系化をはかり、災害看護学の発展を通して、人々の生活と健康に寄与すること」（会則2条）

《活動》

- ①学術交流を目的とする年次大会の開催
- ②学会誌等の発行
- ③災害の国内、国際ネットワークの開発
- ④その他災害看護に関する事業の実施

《会員》 1470名（H27年12月13日現在）

- ①個人会員：1415名
- ②組織会員： 45組織
- ③賛助会員： 6組織
- ④名誉会員： 4名

活動内容

2007年以前の活動



*地震：震度4以上

初期調査



電話での情報収集

*地震：震度6強以上

初動調査

約1ヵ月後、現地調査

連携

*本活動は、先遣隊が活動した場合は、初期調査活動はせずインターネット等からの情報収集を行う

2008年以降の活動

先遣隊

直後からの救援活動をしながら看護ニーズを明らかにする



必要時、被災地看護協会等に連絡を行い、災害支援ナースの派遣を依頼するなど調整を行う。

*震度6強以上の大規模災害で理事会が承認すると活動

日本災害看護学会ホームページより

日本災害看護学会

東日本大震災時における先遣隊の活動



<発災直後>

- 千葉・茨城隊 1隊2名(3月12日、13日)
- 福島・宮城(第1次隊) 2隊4名(3月12日～17日)
- 宮城(第2次隊) 1隊2名(3月17日～21日)
- 岩手隊(第3次隊) 1隊2名(3月20日～23日)

<発災後1ヶ月半～2ヶ月>

- 宮城隊 1隊2名(4月22日～25日)
- 福島隊 1隊2名(4月26日～28日)
- 岩手隊 1隊2名(5月6日～9日)

東日本大震災プロジェクト活動報告

年月日	活動場所	活動内容・参加人数
2012 3/16	南三陸町 平成の森交流サロン	・個別健康相談および交流会 ・参加者：約30名
11/17	宮城大学	・健康と復興まちづくりを考えるシンポジウム ・参加者：200名
2013 3/26	宮城大学 南三陸町復興ステーション	・個別健康相談 ・皆で花を生けよう ・茶話会 ・参加者：約30名
6/1	宮城県気仙沼市 市民健康管理センター	・ケア提供者のためのセミナー 癒す心・癒されるころ ・参加者：50名
2014 7/6	福島県二本松市栄町 岳温泉近くの広場	・子どもと母親の遊びと語りのプロジェクト ・参加者：親子約250名
6/15	宮城県気仙沼市 市民健康管理センター	・ケア提供者のためのセミナー 癒す心・癒されるころ ・参加者：50名
2015 4/18	福島県南相馬市 牛越応急仮設住宅集会所	・個別健康相談・ハンドマッサージ・交流会 ・参加者：約15名
5/29	福島県南相馬市 訪問看護ステーション実態調査	・震災前後の訪問看護ステーション管理者を対象に聞き取り調査 (南相馬市の訪問看護ステーションの現状) 5施設
3月～6月	宮城県気仙沼市 ①応急仮設住宅健康支援と調査 ②応急仮設住宅入居者健康調査 (H24・25・26)データ分析	・健康相談および交流会 ・看護職から支援を受けた被災者を対象に聞き取り調査 (災害中長期における仮設住宅住民からとらえた看護ニーズと看護支援のあり方) ・宮城県が実施した健康調査データを借用し分析

今後の課題



1. 今までの活動から得られた知識の明確化(構築)
2. 他学会/他組織との連携
 - 1) 本学会の活動に関連した情報共有
ex. 先遣隊派遣時に必要な情報入手
 - 2) 協同活動の可能性
ex. ①仙台防災枠組みの実現に向けての協同活動
②安心・安全社会構築に向けた協同活動